

表 2-3 総合評価基準

学習・教育目標	達成度評価対象	各対象の評価方法と評価基準	総合評価方法および評価基準	
(A) 技術者としての基礎を身につけている。	(A-1) 数学を含めた自然科学の知識	工学のための物理学、力学、土木環境数学Ⅰ、応用数学Ⅰ、土木環境数学Ⅱ、情報科学入門	左記の科目全ての単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること。
	(A-2) コミュニケーション能力	卒業研究 日本語コミュニケーション、技術レポート作成技法、課題アプローチ技法Ⅱ、課題アプローチ技法Ⅲ、課題アプローチ技法Ⅳ、工学英語	卒業研究評価項目のうち「英語」、「概要」、「発表」の合計が60%以上 左記の科目全ての単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること
	(A-3) 自己学習能力	必修科目：土木環境工学概論、日本語コミュニケーション 選択科目：統計解析演習、構造力学Ⅰ演習、コンクリート構造工学演習、構造力学Ⅱ演習、地盤工学Ⅰ演習、水理学Ⅰ演習、水環境演習、地盤工学Ⅱ演習、水理学Ⅱ演習、環境解析演習	左記の必修科目全ての単位、および選択科目のうち3科目の単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること
	(A-4) 課題解決能力	卒業研究 必修科目：課題アプローチ技法Ⅰ、課題アプローチ技法Ⅱ、課題アプローチ技法Ⅲ、課題アプローチ技法Ⅳ、土木環境工学実験Ⅰ、土木環境工学実験Ⅱ 選択科目：(A-3)と同じ科目	卒業研究評価項目のうち「既往研究」、「課題設定、解決」、「締め切り」の合計が60%以上 左記の必修科目全ての単位、および選択科目のうち3科目の単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること
	(A-5) 技術者としての倫理	技術者倫理と経営工学、社会資本概論、環境概論	左記の科目全ての単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること
(B) 土木環境工学のどの分野でも活躍できる。	建設材料工学、構造力学Ⅱ、地盤工学Ⅱ、水理学Ⅱ、都市計画、水処理工学	左記の科目全ての単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること	
(C) 社会の要請を察知し、理解して適切な行動ができる。	卒業研究 社会資本概論、環境概論	卒業研究評価項目のうち「テーマの意義」が60%以上 左記の科目全ての単位を取得していること。 各科目の単位取得条件はシラバスに記載の通り。	左記全てを満足すること	